

2024 年 度 高 温 ガ ス 炉 に 関 す る 国 内 外 動 向 調 査
実 施 計 画 案

2024 年 5 月 9 日
一般財団法人エネルギー総合工学研究所

1. 件名

2024 年度 高温ガス炉に関する国内外動向調査

2. 目的

22 世紀において 80 億人に達した人類は、水・資源・エネルギー確保、地球環境の保全、社会経済の発展という 3 つの課題を同時解決し、持続可能な発展を達成しなければならない。そして、原子力の利用は、これらに対し大きく貢献すべきであり、また期待されている。かかる観点から、原子力エネルギーを有効に活用するには、安全性の確保を第一にして発電のみならず、発生する熱も活用していく必要がある。この原子力の安全かつ拡大利用の一層の向上に応えるものとして、高温ガス炉（HTGR）プラントは大きな可能性を持っていると考えられる。

そこで本業務では、高温ガス炉の開発・導入に向けた国内外の動向を広く集約することで、HTGR プラントの実用化に関する技術調査・研究・評価（安全性、経済性、市場性、開発戦略等を含む）の推進に資することを目的とする。

3. 業務の内容

3.1 国内外の学会、研究会等に関する情報収集

主要な原子力関連の学会、研究会等において、高温ガス炉に関する発表を抽出し、その概要をまとめる。その際、発表の件数、発表者の概況（国、組織、対象分野）を整理するとともに、個別の発表の概要を作成する。調査対象としては以下を想定しているが、実施に当たってはプラント研究会における議論を踏まえて柔軟に対応することとする。

- 原子力学会春の年会（2024 年 3 月 26～28 日 近畿大学東大阪キャンパス）
- ICONE31（2024 年 8 月 4～8 日 チェコ プラハ）
- x x x x x x
- 原子力学会秋の年会（2024 年 9 月 11～13 日（東北大学川内北キャンパス）

3.2 関係機関からの情報発信やニュース等の公開情報の収集と整理

以下のサイト等を定期的にチェックし、高温ガス炉に関するニュースがあればそれを抽出する。抽出されたニュースについては、分類タグをつけたうえで一覧表として整理するとともに、それぞれのニュースについて概要をまとめる。高温ガス炉関連ニュース量は社会情勢によっても変化するが、年間 60 本程度を目安とする。

番号		情報源	具体的な調査対象 HP
国内	B1-1	JAEA	JAEA の HP・プレス発表
	B1-2	日本の政府関連	文科省、外務省、経産省、大学等
	B1-3	国内の民間関連	原子力学会誌、電事連、JAIF 等 注) 海外の HP 等で記載されている紹介記事の場合、 海外の HP 記事と一緒に記載。
	B1-4	国内の報道機関	新聞(電子版)等
国外	B2-1	国際機関	IAEA、OECD/NEA 等
	B2-2	海外の政府関連	NRC、DOE、BATAN、NCJP
	B2-3	海外の民間関連	WNA(世界原子力協会)と WNN 等
	B2-4	海外の報道機関	Newspaper、etc.

3.3 調査結果の報告と最終報告書

主要な調査結果については、年 4 回を目途で高温ガス炉プラント研究会運営会議及び委員会にて報告をおこなう。また、研究会の定期講演会で発表を行う。

年度末にはこれまでの調査結果を取りまとめて最終報告書として提出する。

以 上